

内柴正人選手連覇の金メダル!!



表彰式での内柴選手

8月10日、北京オリンピック柔道男子66キロ級に出場した内柴正人選手(武蔵野台出身)が、前回のアテネオリンピックに続き2度目となる金メダルを獲得しました。2大会連続で金メダルに輝いたのは、県内出身者では初の快挙。

内柴選手は、積極的な攻めの柔道で順調に勝ち進み決勝戦に進出。決勝では、フランスのダルベレ選手に縦四方固めを決め、見事金メダリストとなりました。同日、ヴィーブルでは地元出身の内柴選手を応援しようと多くの市民がつめかけ、設置された大型モニターで試合を観戦。

全員がかたずをのんで攻防を見守る中、金メダルが決まると、いっせいに両手を挙げて立ち上がり歓声が上がりました。内柴選手の活躍に涙を流す人の姿も見られ、モニター前はオリンピック会場さながらの熱気と興奮に包まれました。

「あきらめないことを信念に北京オリンピックに臨んだ内柴選手。金メダル獲得おめでとうございます！」



- ① 決勝戦
対ダルベレ選手(フランス)
- ② 3回戦
対ミレスマイリ選手(イラン)
- ③ 準決勝
対アレシビア選手(キューバ)
- ④ 2回戦
対ヒメネス選手(ドミニカ共和国)
- ⑤ 金メダル獲得後、観客席に手を振る内柴選手
- ⑥ 4回戦
対シャリポフ選手(ウズベキスタン)

(表紙・P2・P3①～⑥ 写真提供：共同通信社)

